



## 「知識構成型ジグソー法」ってどんな授業？

学校報No.22にも書きましたが、本校では「知識構成型ジグソー法」という新しい型式の授業に取り組んでいます。新学習指導要領では「主体的、対話的で深い学び」の実現が謳われていますが、ただ対話型の授業を取り入れるだけではなく、「深い学びを引き出すための学習を具体的にどのような方法で行うか」を考え、取り組むことにした学習方法です。

では、それはどのような授業なのでしょう。下の図を見てください。



上の図のように、この授業方法は5つのステップでできています。

- ① **STEP 1 : 各自が考えをもつ**  
この授業時間の課題に一人ひとりがまず答えを出してみます。  
「一人では十分な答えが出ない」課題を与えることがポイントです。
- ② **STEP 2 : エキスパート活動**  
教師が答えのヒントとなるいくつかの資料を与えます。(図では3種類の資料)  
A, B, Cというそれぞれ違う資料を与えられたグループで、話し合います。  
その資料についての専門家になることからエキスパート活動と呼んでいます。
- ③ **STEP 3 : ジグソー活動**  
グループを組み替えて、異なる資料で学習してきたメンバーでグループを組みます。  
「異なる答えの部品」を持ち寄って課題を解決していきます。
- ④ **STEP 4 : クロストーク**  
それぞれのグループがジグソー活動で作上げた答えを全体で交流します。
- ⑤ **STEP 5 : もう一度自分で答えを出す**  
今日の一連の学習で考えたことを自分なりに統合して、自分の言葉で表現します。

今回は、実際の授業の様子を報告します。